

## CONTENTS

- 2 遊んで学ぶ自然教室 親子エコくらぶ「廃油でキャンドル」づくり
- 4 県政フラッシュ
- 特集1
- 6 中小企業の活動を支援します ～県融資事業～
- 特集2
- 8 沖縄のコンテンツを活用した新商品開発・地域おこし
- 特集3
- 10 議会100年のあゆみ ～議会100年記念の取り組みについて～
- 12 守りたい自然 ～おきなわの彩鳥(いりどり)～ ホントウアカヒゲ
- 14 仕事の現場ウォッチング 販売のシゴト(インテリアショップスタッフ)
- 16 県のうごき1 那覇空港滑走路増設案の決定に向けて(構想段階の結果報告)
- 17 県のうごき2 移民県沖縄 ～北米沖縄県人会創立百周年～
- 18 情報ひろば お知らせ
- 20 輝け!わたしたちの島の未来「沖縄元気プロジェクト」大宜味村

### 沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

\*

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課ホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課

TEL.098-866-2020

<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>



を燃やした時にいい香りがします。廃油が固まってきたら、ガラスの周りをきれいに拭きます。そつと洗濯ばさみを取り、たこ糸をガラスの高さに合わせてカット。たこ糸に少し油を染み込ませたら完成です。「思ったより簡単にできちゃった。楽勝!」と自信満々の歩く。出来上がったキャンドルを並べて「お花みたいでしょ」と笑顔の華奈ちゃん。お父さんも「夏休みの自由研究にいいですね。早速家でも作ってみます」と、大満足の三人でした。



色とりどりのキャンドル作りに挑戦! 揚げ物に使った廃油で、素敵なキャンドル作りにチャレンジするのは、お父さんと仲良し兄妹の歩く(小五)と華奈ちゃん(小一)の安里さん親子。まずは、使うガラスとキャンドルの色を決め、手を切らないように注意しながらクレヨンのカッターで削ります。



6月のテーマ★「廃油でキャンドル」づくり

### 「廃油でキャンドル」を作ろう!

◇用意するもの◇  
 廃油、アロマオイル、油の凝固剤、たこ糸、鍋、透明なガラス、クレヨン、はさみ、カッター、洗濯ばさみ、割り箸、軍手

- ①クレヨンのカッターで削る。ガラスの高さと同じくらいの長さのたこ糸を用意し、洗濯ばさみではさむ。
- ②廃油を鍋に入れて弱火にし、温まったらクレヨンを入れてよく溶かす。
- ③火を止めて、油に凝固剤を入れる。
- ④③をガラスに入れる。①のたこ糸を真ん中にセット。
- ⑤熱が少し冷めたら、アロマオイルを入れる。完全に固まったら完成!



火をつけると、アロマオイルのいい香りが広がる廃油キャンドル

「歩くくんはカッター使えるかな?」と田中先生。「使えるよ!」とむつとした表情の歩くくんですが、「親指をこう使うといいよ」と教えてもらい、少しずつ上手に使えるようになって本人も満足気です。

次にガラスの高さと同じくらいの長さのたこ糸を洗濯ばさみではさみます。準備が整ったら鍋に廃油を入れ、弱火で温めます。削ったクレヨンを入れてかき混ぜ、きれいに溶けたら



身近にある地元の素材を使って昔ながらの遊びに挑戦する「うちななく流エコ」。お日様や風を感じて、親子で一緒に遊びながら沖縄の豊かな自然を再発見してみよう!

今月の先生  
 地球と地域を元気にする NPO法人  
 「沖縄ホールアース研究所」 田中 啓介さん  
 ホールアース自然学校コーディネーター。NPO法人沖縄ホールアース事務局長。国際交流・国際協力・環境教育の3つの橋渡しを目指し、行政や企業・地域の人々と一緒に、まちづくりや人材育成を進めている。  
 URL: <https://blog.canpan.info/okinawa-wens>

廃油を捨てるのは、沖繩の海はどうなる? グラスの熱が冷めるのを待つ間、ちよつとお勉強タイム。「二〜三滴の廃油を海に捨てたら、魚が元気に住める元のきれいな海にするために、どのくらいの水が必要?」と、田中先生が問題を出します。「①ペットボトル一本分②約一リットル、③バケツ二杯分④約二十リットル、⑤浴槽一杯分⑥約三百リットル」。

「③番」と元気に答えた歩くくん。正解! 沖繩のきれいな海を守るためにも廃油の処分については注意が必要です。

そろそろガラスが冷えてきたので、好きなアロマオイルを選んで二〜三滴入れます。こうすると、キャンドル



火を止め、油の凝固剤を入れてまたかき混ぜます。完全に溶けたら廃油をガラスに注ぎ、たこ糸を真ん中にセット。歩くんと華奈ちゃんは、真上や横から見てチェック。真剣な表情です。



**5** **1** 平成21年春の叙勲伝達式  
 受章者16人に勲記と勲章を伝達



仲井真知事と平成21年春の叙勲受章者

平成21年春の叙勲伝達式が那覇市の知事公舎で行われ、仲井真知事から地方自治、公衆衛生、職業訓練、社会福祉の各分野における功績を認められた受章者16人に対し、勲記と勲章を伝達した。

仲井真知事は、「今日の沖縄県の発展は、各分野において素晴らしい功績を挙げられた皆さんの真摯な努力と郷土愛の賜物だ」と受章者の功績を称えた。

地方自治功労で旭日小綬章を受章した元名護市長の渡久地裕徳氏が受章者を代表し、「私たちの努力が戦後の沖縄県の発展に貢献できたのは多くの先輩の指導と関係者の温かい協力のおかげだ」と受章の喜びを語った。



受章者を代表してあいさつする渡久地裕徳氏

**4** **20** 面談 参議院外交防衛委員会  
 在沖米海兵隊のグアム移転について意見交換

参議院外交防衛委員会(榛葉賀津也委員長)の委員ら9名が在沖米海兵隊のグアム移転協定に関する調査のため来県し、米軍普天間飛行場とキャンプ・シュワブを視察した後、那覇市内のホテルで仲井真知事らと意見交換を行った。



参議院外交防衛委員会との会談の様子

仲井真知事は、普天間飛行場代替施設の沖合への移動、日米地位協定の抜本的な改定、米軍再編の確実な実施などについて要請するとともに、「県民の基地負担軽減に繋がる」として、グアム移転協定締結による在沖米海兵隊のグアム移転の確実な実施と嘉手納飛行場より南にある施設や区域の返還計画の詳細を早急に作成し、公表することを同委員会に求めた。



委員らに説明する仲井真知事

**5** **13** 沖縄科学技術大学院大学学園法案の  
 早期成立について国会議員へ要請



要請団長として要請を行う仲井真知事

今国会で沖縄科学技術大学院大学学園法案の成立が危ぶまれている状況を受け、沖縄科学技術大学院大学設置促進県民会議は8日に緊急総会を開いた。

会長の仲井真知事は「世界最高の研究・教育水準を有する沖縄科学技術大学院大学の設置は沖縄の自立的発展の鍵としても必要不可欠だ。3月に国会へ提出された同法案が未だ審議されておらず、今国会で成立しなければ、平成24年の開学が難しくなる。早急に審議し、成立させたい」とあいさつし、同法案の早期成立を求めるための決議を採択した。

仲井真知事ら要請団は13日に上京し、法案の審議に係る国会議員等を訪ね、要請を行った。



緊急総会にて決議を採択

**4** **28** 平成21年度 県・市町村行政連絡会議  
 県の医療体制のあり方などについて意見交換



県・市町村行政連絡会議の様子

平成21年度の県・市町村行政連絡会議が那覇市内のホテルで行われ、仲井真知事をはじめ、県幹部と市町村長、議長らが出席し、様々な議題について議論した。

議題の中で県は新型インフルエンザが世界各地で流行していることから、県内で同インフルエンザが確認された場合の対策として、市町村に相談窓口や対策本部の設置などを検討するよう求めた。

また、特別議題として挙げられた沖縄県の医療体制のあり方について、仲井真知事は「市町村とともにいい医療ができるようにしたい」と話し、県立病院の独立行政法人化について県の立場を説明するとともに市町村と意見交換を行った。



あいさつする仲井真知事

**沖縄の人口  
 世帯の動き**

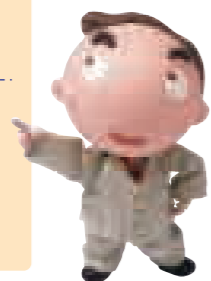
平成21年4月1日現在



**人口** 137万6,996人  
※前月比4,733人減



**世帯** 51万8,367世帯  
※前月比1,335世帯減



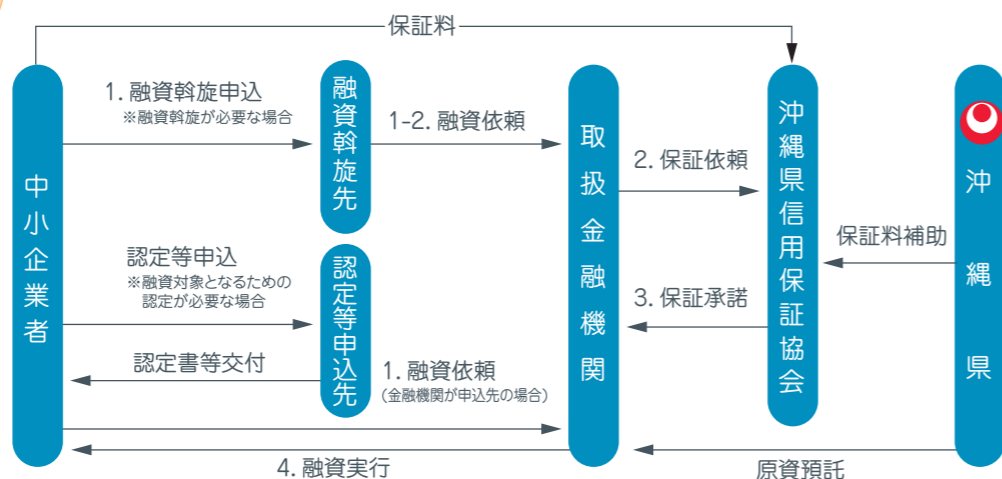
15日	14日	13日	11日	8日	7日	1日
表敬 石川邦大氏	表敬 須江雅彦氏	表敬 総務省官房審議官 須江雅彦氏	要請 沖縄県新型インフルエンザ対策本部会議 沖縄科学技術大学院大学学園法案の早期成立について	第29回日中経済知識交流会歓迎宴	表敬 うるま市長 知念恒男氏	赤十字社社費贈呈式 平成21年春の叙勲伝達式

30日	28日	27日	24日	23日	22日	21日	20日	19日	18日	17日
要請 南北大東村長 仲田建匠氏、宮城光正氏 2009沖縄伝統空手道世界大会 第二回実行委員会総会	表敬 吉本興業(株)代表取締役社長 大崎洋氏	表敬 駐日アルゼンチン共和国特命全權大使 ダニエル・ホルスキ氏	表敬 浅見敏彦氏	表敬 日本酒造組合中央会副会長 浅見敏彦氏	表敬 めんそーれ沖縄県民運動推進協議会臨時総会	表敬 海上自衛隊航空集団司令官 倉本憲一海将	面談 参議院外交防衛委員会	表敬 第226回「世界を考える京都座会」	琉球海炎祭2009	首里城復興元期成会解散式典





沖縄県融資制度の流れ



その他の沖縄県融資制度資金

◎零細企業、小規模企業者を支援します。

融資制度資金名	利用できる方
小口零細企業資金	従業員20人以下の企業 (商業・サービス業は5人以下)
小規模企業対策資金 (一般貸付)	従業員20人以下の企業(商業・サービス業は5人以下)市町村又は商工会、商工会議所のあつせんが必要です。
小規模企業対策資金 (特別小口貸付)	従業員20人以下の企業(商業・サービス業は5人以下)で、中小企業信用保険法に規定する特別小口保険に該当する方。市町村又は商工会、商工会議所のあつせんが必要です。

◎雇用促進を図る事業者を支援します。

融資制度資金名	利用できる方
雇用創出促進資金	新たに常時使用する従業員を1名以上雇い入れようとする中小企業者、協同組合等。商工会、商工会議所のあつせんが必要です。

◎観光リゾートや地域産業の振興のため積極的に取り組む事業者を支援します。

融資制度資金名	利用できる方
観光リゾート振興資金	観光関連の事業を営み地域の観光振興に寄与する中小企業者、協同組合等。商工会、商工会議所の認定が必要です。
産業振興資金 (オキナワ型産業振興貸付)	オキナワ型産業(健康食品産業、バイオ関連産業、健康サービス産業、泡盛産業、工芸産業、環境関連産業)を営む中小企業者、協同組合等。
産業振興資金 (企業立地推進貸付)	特別自由貿易地域、情報通信産業振興地域等において工場、事業所を設置する方。

◎起業家、新たな製品・商品等を開発する方、新たな分野へ進出する方を支援します。

融資制度資金名	利用できる方
創業者支援資金	独立・開業を行う者、又は開業後1年を経過していない事業者。県産業振興公社又は商工会、商工会議所の指導を受け、創業計画書を作成する必要があります。
ベンチャー支援資金	商品の開発又は生産、新役務の開発等の新たな取り組みや生産、新製品、新技術等を開発したもの。
新事業分野進出資金	現在の事業を行いながら、多角化や事業転換により新たな事業分野に進出する事業者。県産業振興公社又は商工会、商工会議所のあつせんが必要です。

◎事業再生に取り組む事業者を支援します。

融資制度資金名	利用できる方
中小企業再生支援資金	沖縄県中小企業再生支援協議会の支援を受け、再生支援計画を策定した中小企業者、協同組合等。

◎その他、県内の中小企業者を支援します。

融資制度資金名	利用できる方
組織強化育成資金	商工業関係組合及び構成企業。沖縄県中小企業団体中央会のあつせんが必要です。
経営振興資金	経営の近代化、合理化を図る中小企業者、協同組合等。
短期運転資金	短期的な運転資金を必要とする中小企業者。

※融資は原則、沖縄県信用保証協会の保証付きです。 ※金融機関と沖縄県信用保証協会の審査が必要です。 ※融資利率は、固定で年2%台です。(一部、資金を除く。)

お問い合わせ

制度について ▶ 沖縄県観光商工部経営金融課 ☎098-866-2343  
 保証について ▶ 沖縄県信用保証協会経営支援課 ☎098-863-5300  
 認定について ▶ 事業所のある市町村の商工会、商工会議所

県融資事業

中小企業の活動を支援します

県融資制度は、中小企業の事業活動に必要な資金を融資することで資金調達の円滑化を図り、県内中小企業の振興に寄与することを目的としています。

長期・固定・低利の資金を提供するとともに、県信用保証協会の債務保証を付け、金融機関からの融資の円滑化を図ります。また、県が保証料補助を行うことで、中小企業者に対する保証料率の低減を行っています。



沖縄県緊急総合経済対策に関する融資制度資金

売上の減少や原油・原材料等の仕入価格の高騰により経営状況が悪化している事業者の資金繰りを支援します。

中小企業セーフティネット資金

●利用できる方	売上減少等により資金繰りが厳しくなっている中小企業者、協同組合等。特定中小企業者として市町村長の認定を受けた国のセーフティネット保証(5号)利用者も利用可能です。
●資金使途	運転資金
●融資限度額	2,000万円
●融資期間(据置期間)	5年以内(1年以内)
●融資利率	固定金利 年2.60% (ただし、市町村長認定の場合、年2.40%)
●保証料率	0.45%から1.40% (ただし、市町村長認定の場合、0.55%)
●担保・保証人	必要に応じて求める (法人は、代表者を保証人とする。)

原油・原材料高騰対策支援資金

●利用できる方	原油・原材料等の仕入価格高騰の影響で資金繰りが厳しくなっている小規模企業者で、商工会、商工会議所が認定した者。
●資金使途	運転資金
●融資限度額	1,000万円
●融資期間(据置期間)	7年以内(1年以内)
●融資利率	固定金利 年2.30%
●保証料率	0.00%
●担保・保証人	必要に応じて求める (法人は、代表者を保証人とする。)

# 沖縄のコンテンツを 活用した新商品開発 地域おこし



つとして、地域資源では沖縄最大の魅力でもある「海」と、ミュージカルや創作ダンスの収録を行い、映像コンテンツとして制作しました。このコンテンツを、国内外へ広く告知できるように、商工会やリゾートホテル等との協力体制もつくりながら「人を目的に観光客が来る」仕組み作りを取り組んでいます。また、(財)沖縄コンベンションビューロー・沖縄フィルムオフィス等の協力を得て、アジア最大の映画見本市である「香港フィルムマーケット」(主催 香港貿易発展局)に映像コンテンツを初出展し、世界の映像関係者へ紹介することもできました。

さらに、コンテンツ利用の新しい取り組みとして、六月二十八日(日)午後六時より、かでな文化センター大ホールにてA・Live(エーライブ)が公演されます。

また、沖縄の音楽は観光客にとって沖縄の魅力の一つとなっていますが、県内のライブハウス、民謡酒場やイベントホールなどの音楽施設についての知名度はまだ低く、沖縄県民ですら知らない、又は知っていても足を運んだ事がないといったところが数多くあります。

そこで、沖縄着うたケータイサイト「沖縄ちゅらサウンドズ」を運営するゆいワークス株式会社(代表取締役 山城加寿)では、地域資源活用事業の支援を受け、テストマーケティングの一環として既存の音楽施設のイベント十六カ所に観光客五〇〇名を無料招待。沖縄の音楽を観光客に実際に体感していただき、意識調査等のアンケートを実施するなど、沖縄ファンを着実に増やす取り組みを行いました。



さらに、沖縄県もすぐ養殖業振興協議会や渡名喜村などでは二〇世紀フォックス映画が配給し、六月十七日から公開する映画「群青 愛が沈んだ海の色」とのタイアップを行っています。

同映画を題材にした共同商品開発、共同イベント開催や渡名喜島のロケ地ツアーなど各種連携が行

魅力ある沖縄のコンテンツを利用して新しい事業を考えてみませんか。

県は国と連携し、関係機関を通して地域資源の活用促進と中小企業や農漁業者を応援するための各種の施策を用意しています。

## 沖縄音楽も地域資源

県内には、赤瓦屋根、琉球舞踊や組踊、ゴーヤやモズクなどに代表されるように、他地域とは異なる魅力ある伝統文化・歴史、食材等、様々な資源があります。このような特徴ある地域資源の中から、①農林水産物、②産地の技術(伝統工芸品等)、③観光資源の三種について、これらを活かした新しい商品開発を支援する仕組みである「地域資源活用プ

ログラム」が、平成十九年度から始まり、多くの農水産物を利用した商品開発が行われています。

しかし、「沖縄音楽」などの無形コンテンツも地域資源に含まれるという点についてはあまり知られていません。

## コンテンツ活用例

安室奈美恵、SPEED、黒木メイサ等、多くの県出身タレントを輩出している(株)沖縄アクターズスクール(代表取締役 マキノ正幸)では、総合エンターテイメント企業への展開を目指し、経済産業省の「地域資源活用型新規産業創造事業」へ応募し、県内で唯一採択されました。

同事業では、観光客減少の打開策の一



アクターズスクール制作の観光客誘致用DVD等



映画「群青 愛が沈んだ海の色」(配給:20世紀FOX)

## 企業等への支援体制

県は、地域資源を活用した新しい事業の創出を促進するため、国と連携し、関係機関を通して支援していきます。特に、日本の強みである「つながりの力」を更に強化し、経営力の向上や事業承継等、中小企業が直面する課題に対してきめ細かな支援を行えるよう県内七カ所に相談窓口がありますので、お気軽にご相談ください。

## 相談窓口 (地域力連携拠点)

- 沖縄県商工会連合会 …… ☎ 098-859-6150
- 石垣市商工会 …… ☎ 098-082-2672
- 名護市商工会 …… ☎ 098-052-4243
- 宜野湾市商工会 …… ☎ 098-897-0111
- (財)沖縄県産業振興公社 …… ☎ 098-859-6239
- 沖縄銀行 …… ☎ 098-867-2141
- 琉球銀行 …… ☎ 098-860-1216

お問い合わせ 県産業政策課 TEL : 098-866-2330 FAX : 098-866-2440

# 議会100年のあゆみ

## ～議会100年記念の取り組みについて～



議長 高嶺 善伸

### 議長あいさつ

今年、明治四十二年（一九〇九年）に沖縄県会が発足してから一〇〇年という大きな節目の年に当たります。

その間、我が沖縄県民は、戦後の廃墟の中から郷土の復興にいち早く立ち上がり、二十七年にも及ぶ米軍施政権下の様々な苦難に耐え、日本復帰後の幾多の困難をも克服して、今日の平和と繁栄を築くことができました。

本県議会は、現在の県議会制度の芽生えとなった沖縄県会の発足から議会一〇〇年を迎えるに当たり、これまでの先人の英知とたゆまぬ努力によって築かれてきた貴重な歴史を振り返るとともに、未来に向け、県議会が恒久平和実現に取り組み決意を県内外に発信するため、来る六月定例会において「議会一〇〇年に関する決議」を行います。

本県議会は、これからも全議員が力をあわせて、県民の負託にこたえるべく、良識のある言論の府として、なお一層の努力を傾注していく決意であります。



南陽館（明治末頃）  
第8回から第10回までの沖縄県会が開催された。沖縄最初の洋風建築。写真中央の2階建洋風木造館。手前は久茂地川。  
「写真集 沖縄～失われた文化財と風俗～」より



大正時代の沖縄県会議事堂  
第11回以降の沖縄県会が開催された。太平洋戦争で消滅。



府県制施行第1回沖縄県会議員（明治42年7月） 於：県会議事堂前「五味武資料」より

### 歴史年表

西暦（和暦）	本県事項
一九〇九年（明治四十二年）	特別府県制施行 第一回沖縄県会開催（俵徳館を改装した県会議事堂にて）
一九一五年（大正四年）	県会議事堂、那覇美栄橋に新築
一九二〇年（大正九年）	特別県政・町村制撤廃
一九二一年（大正十年）	那覇・首里市制施行
一九四一年（昭和十六年）	真珠湾攻撃、太平洋戦争開戦
一九四五年（昭和二十年）	三月 米軍、沖縄上陸 六月 沖縄戦、組織的戦闘終結 八月 日本降伏、太平洋戦争終結 沖縄諮詢会発足
一九五二年（昭和二十七年）	琉球政府設立 第一回立法院議事堂開催（戦災を免れた円山号デパートにて）
一九五三年（昭和二十八年）	奄美諸島本土復帰
一九五四年（昭和二十九年）	立法院議事堂新築（旧議事棟）
一九七二年（昭和四十七年）	本土復帰 第一回沖縄県議会議会開催
一九九二年（平成四年）	沖縄県議会議会棟竣工（現議事棟）
二〇〇九年（平成二十一年）	議会一〇〇年記念行事実施

### 議会一〇〇年記念各行事の紹介

沖縄県議会では、議会一〇〇年を迎えるに当たり、記念行事等を実施するため、議会一〇〇年記念取組検討小委員会を設置し検討を重ね、各派代表者会において六月定例会の開会日を中心とする諸行事等執り行うことを決定しました。開会日当日に実施される主な記念行事等は、次のとおりです。



議会100年記念取組検討小委員会の様子

#### 1 琉球古典音楽演奏

一〇〇年を記念し、元立法院議員や元県議会議員を招いて、県議事本会議場で、県立芸術大学の学生が琉球古典音楽を演奏します。

【日時】六月定例会開会日  
本会議開会前（午前九時三〇分）

【場所】県議事庁舎四階本会議場

#### 2 決議

一〇〇年を迎えるに当たり、県議会としての決意を表明します。

【期日】六月定例会開会日

【場所】県議事庁舎四階本会議場

#### 3 記念植樹

「緑の募金」から一〇〇年を記念して寄贈された記念木の植樹を行います。

【期日】六月定例会開会日  
【場所】県議事庁舎敷地内

#### 4 一〇〇年古酒

一〇〇年を記念し、全議員で甕に泡盛を注ぎ、今後一〇〇年間貯蔵します。泡盛と甕は、沖縄県酒造組合連合会から寄贈されます。

【期日】六月定例会開会日

【場所】県議事庁舎一階ロビー

#### 5 記念写真展等

一〇〇年の歴史を写真等や映像で振り返ります。

【期間】六月定例会開催期間中

【場所】県議事庁舎一階ロビー



戦災を免れた円山号デパート（昭和27年）  
第1回から第4回までの立法院議事堂が開催された。

お問い合わせ 県議会事務局総務課 TEL：098-866-2572 FAX：098-866-2350

# おきなわの いろ 彩鳥 どり

四季を告げる野鳥は沖縄の美しい自然そのもの。  
希少な存在になってしまったものも少なくありません。  
いつまでも守り続けたい生命の輝きがここに 있습니다。



全長約 14cm、頭部から背中にかけては赤橙色で、  
雄は胸が黒いのが特徴。  
美しい声でさえずります。  
やんばるにのみ分布しており、  
近年は外来種のマングースによる捕食などの影響で、  
生息域が減少しつつあるようです。  
現在、やんばるの貴重な小動物を守るため、  
外来種であるマングースの捕獲作業が行われています。  
写真は、初夏の森で出会った巣立ったばかりの雄の幼鳥。  
警戒心が薄く、すぐそばに近寄ってきました。

## 愛らしい姿と美しい鳴き声で魅了する留鳥 「ホントウアカヒゲ」



スズメ目ツグミ科 *Erithacus komadori namiyei* 国指定天然記念物  
レッドデータ沖縄、環境省レッドリスト共に「絶滅危惧IB類」に分類



Photographer  
小原 祐二・Obara Yuji

1968年鹿児島県生まれ。琉球大学生物学専攻卒業後、沖縄で環境調査に従事。  
ウェブサイトおきなわカエル商會を運営、沖縄の自然を紹介している。  
HP <http://www.okinawa-kaeru.net>

## (財)雇用開発推進機構とは?

財団法人雇用開発推進機構は、沖縄の勤労者と勤労者をとりまく社会経済環境について、総合的な調査研究を行い、その成果を活用し、本県の地域特性を活かした雇用対策を推進することを目的として、県、市町村、労働団体、経済団体が一体となって設立した公益法人です。

本県の雇用情勢の改善を図るため、今年度、県から受託して実施する主な事業は以下のとおりです。

問い合わせ先:

(財)雇用開発推進機構

那覇市小祿1831番地1沖縄産業支援センター7階  
Tel 098-859-6140 Fax 098-859-6220  
URL <http://www.empact.or.jp>

### 子育てママ就業支援プログラム事業

子育て中で求職中の女性等を対象として、パソコン基本操作やビジネスコミュニケーションなどの技術習得・企業体験といった研修を行い、コールセンター等への就職を支援する事業です。研修中、未就学児を預かりますので、安心して受講できます。

第1回目の講座は、平成21年6月1日から開始、年間で5回の開催予定です。

受講生は、講座開始の約1ヶ月前から募集します。  
◆パソコン基礎講座(5日間)、就職講座(18日間)

### 沖縄県緊急ジョブトレーニング事業

雇止め等で失業した者などに対し、事業所での作業環境に適応させることを目的に、事業所において職場訓練(最大3か月間)を実施する事業です。協力事業所には訓練委託料(訓練生1人につき月額1,000円×最大21日)を、訓練生には訓練手当(月額6,000円×最大21日)を支給します。

現在、協力事業所と訓練生を募集しています。

### 核世代再チャレンジ雇用支援事業

県内在住の核世代(40~44歳)の求職者を採用したいと考えている企業に対し、常用雇用移行を前提として試用雇用(最大3か月間)を実施する場合に、奨励金(月額最大5万円)を支給する事業です。

活用を希望する企業を随時募集しています。

また、採用を予定している県内及び県外企業概ね30社と核世代を中心とした求職中の方を結びつけるための合同就職説明会を10月10日(土)に開催する予定です。

**Q** 仕事の苦労は? やりがいを感じる瞬間は?

**A** アイテムが多いので確認する商品知識が膨大です。商品の回転も早く、補充や陳列、POP制作などでとにかく多忙です。お客様のニーズをさぐるために趣味の力フエめくり



業務連絡は携帯電話で。忙しいけど充実しています。

**Q** 職場の人間関係を円滑にする秘訣は? 自分の経験から同じ道をめざす人へアドバイスを!

**A** 初めての連続なので、売上が落ち込み、どう改善したらいいかわからず悩みました。不安でいっぱいの中、「とにかく楽しもう!」なんくるないさというプラス思考に気持ちをチェンジしました。目標とする先輩や同僚の支えも大きかったですね。

**Q** 今までに仕事を辞めたいと思ったことは? それをどのように乗り越えましたか?

**A** 経験のない仕事ではすべてがち込み、どう改善したらいいかわからず悩みました。不安でいっぱいの中、「とにかく楽しもう!」なんくるないさというプラス思考に気持ちをチェンジしました。目標とする先輩や同僚の支えも大きかったですね。



**Q** この仕事に就いたきっかけは?

**A** これまでと全く違うことがしたくて、好きなインテリアの分野を志すことにしました。部屋の模様替えや簡単なDIYは経験済みでしたが、仕事としては全くの初心者だったので不安でなかなか動き出せませんでした。やっと一年前に現在の職場のアルバイトに応募し、勤務二カ月で正社員に採用されました。

#### 上司からもヒトコト



チームをまとめる体育会系の良さは天性のもの。いつも前向きな職場の「ムードメーカー」です!

お客様の要望や時代の変化に柔軟に応えるフットワークの軽さ、明るさにアルバイトの頃から注目していましたが、社員になってさらに成長しました。この仕事は提案力が必須です。流行を敏感に捉え、住空間をどう素敵に演出するかが問われます。今後はリーダーシップを発揮し、問題意識を持って仕事に励んで欲しいですね。

ホームファニングストア マックスプラス古島店長 中磯美佐枝さん

# 仕事現場ウォッチング

興味のあるシゴトはあるけれど、その実態がよくわからない。 やりがいや本音、現場の空気をもっと知りたい! そんな思いに応えてさまざまなシゴトをレポート! ヒントはいつも現場にありました!

## ●今月のシゴト・ターゲット「販売のシゴト(インテリアショップスタッフ)」

ホームファニングストア マックスプラス古島店 1階雑貨・インテリアグリーン担当 仲里 裕貴さん(25歳)

インテリアショップスタッフのシゴトとは、流行をアレンジして提案する「住空間の仕掛け人」。豊富な知識と多角的な視点が必要とされるシゴト。一見華やかに見えますが、意外と裏方作業が多い仕事です。商品の発注や入荷商品の検品、荷物の移動他、チラシ広告の内容や季節のモチベーションに合わせたPOP制作、店内ディスプレイの変更など、作業の種類もいろいろあります。インテリアコーディネーターやカラーコーディネーターなどの資格を持っているとディスプレイの際に活用できますが、現場では資格よりもむしろやる気や情熱、柔軟性や提案力が重視されます。社会の動向や流行を敏感且つ迅速にキャッチし、豊富な商品知識とユニークな発想力で「住空間を仕掛ける」ことが大きなテーマです。そのため、商品知識やあらゆる情報を常に持ち合わせていなければなりません。

### PROFILE 仲里 裕貴さん



1984年那覇市出身。高校卒業後、日本体育大学へ進学。スポーツ店勤務や県庁臨時職員を経て、趣味のインテリアを仕事にしようと2008年4月、アルバイトとしてマックスプラス入社。現在、正社員として活躍中。



インテリアや雑貨が好きな気持ちが一番大切です。

**Q** 今後のキャリアアップの目標は?

**A** これまでと全く違うことがしたくて、好きなインテリアの分野を志すことにしました。部屋の模様替えや簡単なDIYは経験済みでしたが、仕事としては全くの初心者だったので不安でなかなか動き出せませんでした。やっと一年前に現在の職場のアルバイトに応募し、勤務二カ月で正社員に採用されました。

**Q** 就職した後で、この仕事に対するイメージの変化は?

**A** 商品に愛情を感じ、女性の「かわいい」という感覚も実感できるようになりました。雑貨もさまざまな見せ方があり、良く見えなければ売れません。買う立場から売る立場になって周りの意見も参考にしつつ、買う側

**Q** 一日の平均的なスケジュールは?

**A** 九時半に出勤し、清掃後に十時からミーティングです。その日の納品・発注スケジュール、前日の売上と当日の売上目標、人員の出欠などを確認します。商品の前出しやディスプレイチェックなどの「商品メンテナンス」を行い、十時半より開店。夜八時の閉店までお客様の対応や商品の説明在庫の確認や補充に追われます。男性社員は大型家具の運搬もするので、結構重労働です!



各施設行事予定表

県立図書館

☆休館日：毎週火曜日、祝日  
http://www.library.pref.okinawa.jp/

宮古分館 ☎0980-72-2317

- ◆ミニ展示「慰霊の日特集」  
6月1日(月)～6月29日(月)
- ◆写真展「宮古にみる戦跡」  
6月3日(水)～6月29日(月)
- ◆郷土史研究会(6月定例会)  
6月18日(木)

八重山分館 ☎0980-82-2145

- ◆ミニ展示「かつていいぞお父さん」  
6月1日(月)～6月15日(月)
- ◆戦争・平和に関する本の展示  
6月15日(月)～6月29日(月)

県立博物館・美術館

☆休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

☎098-941-8200

- ◆美術館企画展  
「豊潤の美を求めて 金城安太郎と高島華育展」  
6月28日(日)まで  
入場料：一般800円、高校生・大学生500円、  
小中学生300円
- ◆博物館企画展「新収蔵品展」  
6月28日(日)まで  
入場料：一般200円、高校生・大学生150円、  
小中学生100円

県八重山平和祈念館

☆休館日：毎週月曜日 ☎0980-88-6161

- ◆開館10周年記念企画展  
「マラリアと戦争マラリア」展  
6月30日(火)まで

2009年6月  
情報ひろば

6月 JUNE

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月 JULY

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

イベント

まるごと沖縄  
クリーンビーチ2009

6月1日から7月31日までの2ヵ月間、県内各地の海岸やビーチで清掃や関連イベントを行います。暑さ対策を行い、清掃活動へご参加くださるようお願いいたします。

●問合せ 県環境整備課

☎098-8669-2231

OCNN事務局

(第十一管区海上保安本部環境防災課)

☎098-8661-5839

募集

沖縄県福祉のまちづくり  
推進功労者表彰候補者募集

県内において、福祉のまちづくりに寄与する取り組みや活動を行っている個人、団体を募集しています。

個人住民税の公的年金からの  
特別徴収制度について

平成21年10月より、個人住民税の公的年金からの天引き特別徴収制度が始まります。この制度は、納税者の皆様の利便性の向上と徴収の効率化を図るため、全国一律に導入されるものであり、新たな税の負担はありません。個人住民税の公的年金からの特別徴収制度へのご理解をよろしく願います。

- 対象者 4月1日現在65歳以上の公的年金受給者で、前年中の年金所得に対する個人住民税の納税義務のある方
- 問合せ お住まいの市町村の税務担当窓口

試験

地域限定通訳案内士試験

沖縄で外国人観光客に有償で通訳ガイドを行うことが出来る地域限定通訳案内士の資格試験を行います。  
●第1次試験日 8月29日(地理等)  
8月30日(外国語)  
●締切 6月19日(金)  
●申込配布場所 県観光企画課  
●受験手数料 8100円  
●問合せ 県観光企画課  
☎098-8666-2763

お知らせ

経済センサス―基礎調査

7月1日、平成21年経済センサス―基礎調査が行われます。この調査は全国すべての事業所及び企業が調査の対象となります。調査票が届きましたら、もれなくご記入ください。情報の保護も徹底していますので、安心してご協力ください。  
●問合せ 県統計課  
☎098-8666-2050

節水のご協力について

ダムの貯水率が低下し、水事情が厳しくなっています。水は限りある貴重な資源です。1人1人が普段の水の使い方工夫するなどして、水を大切に使い、節水を心がけましょう。  
●問合せ 県地域・離島課  
☎098-8666-2370

慰霊の日関連行事

沖縄全戦没者追悼式

先の大戦で戦没された方の御霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う沖縄の心を発信します。

【沖縄全戦没者追悼式前夜祭】

●日時 6月22日(月) 19時～20時半  
●場所 平和祈念堂(糸満市摩文仁)

【平和祈願慰霊大行進】

●日時 6月23日(火) 9時～11時半  
●場所 糸満市役所から平和祈念公園

【沖縄全戦没者追悼式】

●日時 6月23日(火) 11時50分～12時40分  
●場所 平和祈念公園(糸満市摩文仁)  
●問合せ 県福祉・援護課  
☎098-8666-2177

県平和祈念資料館

【無料公開】

●日時 6月23日(火) 9時～18時  
●日時 6月23日(火) 13時～17時  
●問合せ 県平和祈念資料館  
☎098-9997-3884

児童・生徒の  
平和メッセージ展

児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩を展示し、平和のメッセージを発信します。

●開催場所・期間

●開催場所 県平和祈念資料館  
6月20日(土)～7月8日(水)  
八重山平和祈念館  
7月14日(火)～7月28日(火)  
県民ホール(県庁1階)  
8月10日(月)～8月14日(金)  
●問合せ 県平和祈念資料館  
☎098-9997-3884

県広報課からのお知らせ



6月 放送予定

- 6日・7日 振り込め詐欺
- 13日・14日 北米沖縄県人会創立100周年
- 20日・21日 日本一早い超早場米の生産
- 27日・28日 エコアクション21

テレビ放送時間 RBC 6:15 QAB 11:30 OTV 6:45

詳しくはホームページへ http://www.pref.okinawa.jp/ 沖縄県ホームページ▶沖縄県の紹介▶広報(テレビ・広報誌等)

県広報課 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

ラジオ県民室

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。

放送時間/毎週月曜日～金曜日

ラジオ沖縄 (864kHz) 11:50～11:55  
RBCiラジオ (738kHz) 11:55～12:00  
FM沖縄 (87.3MHz) 12:55～13:00

●ご意見・ご提言 県政に対するご意見・ご提言をEメール、FAX、手紙などで募集しています。  
●あて先 県民ご意見箱、知事へのたより  
※記入様式等は、ホームページをご覧ください。

6月1日(月)大会開催まで、あと423日です

大会公式HPはこちら  
http://www.edu.pref.okinawa.jp/kousoutai/

「美ら島沖縄総体2010」通信②  
みなさんは、全国インターハイがいつから始まったかご存知ですか？実は、昭和三十八年に新潟県を主会場として、第一回全国インターハイが開催されました。その後、回を重ね、来年の沖縄大会が第四十八回目の大会となります。大会の目的としては、高校教育の一環としてスポーツの実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な高校生を育成するとともに、高校生相互の親睦を図ろうとする事となっております。  
現在は、二〇万人を超える高校生が各県高等学校体育連盟に登録し、全国インターハイを目指して日々練習に励んでおります。その中から、各競技の予選を勝ち抜いた約二万五千人の選手が、来年の七月本県に集結し、二十四日間の熱い戦いが繰り広げられます。  
今年四月には、「美ら島沖縄総体2010」の競技日程が正式決定しました。また今年度は各競技のリーダー大会と位置づけ、県内各地で本番さながらの競技及び運営が展開されます。詳しい競技日程については、「美ら島沖縄総体2010」公式ホームページをご覧ください。

# 沖縄 元気プロジェクト



## 「大宜味の空気を丸ごとブランド化プロジェクト」 「大宜味いいところ見つけ隊」

大宜味にしかない魅力に  
気づき、発信したい！

大宜味村は那覇市から北へ八十七キロメートル、芭蕉布の産地であり、長寿や「ぶながや」(がじゅまるの木糖)の里として知られています。東シナ海に面し、面積の七割以上が森林という自然の宝庫「大宜味村」は、豊かな自然環境を丸ごとブランド化するユニークな取り組みが始まっています。

「来てもらえればわかりますが、大宜味は空気の美味しさが違うんです」と語るのは、大宜味村商工会経営指導員の宇根哲也さん。村の有志たちが大宜味村を活性化したいと模索しているその情熱と考えに賛同し、商工会で何かお手伝いが出来ないかと感じたことが宇根さんのプロジェクト参加へのきっかけでした。

大宜味にしかない野鳥のさえずりや波音、塩屋湾や水田の美しい風景、四季の花々やシークワーサーなど、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚の五感で感じる大宜味村の魅力を引き出し、ゆったりと流れる時間や澄んだ空気を丸ごとブランド化しようと考えたプロジェクト

プロジェクトが「大宜味いいところ見つけ隊」です。このプロジェクトは平成二十年度沖縄県地域ブランド構築推進事業に採択されました。この補助金で講演活動を行い、地域ブランド構築の土台を作っています。



前列左から、沖縄県観光商工部・新垣さん、照喜名さん、観光商工部・兼島さん、後列左から、観光商工部・富永さん、前田さん、中森さん、大宜味村商工会・仲井間さん、大城さん、商工会・宇根さん

「産官学の多彩なメンバーでめざす「大宜味村の活性化」

メンバーは多彩な人材が集まっています。大宜味村役場や商工会の職員をはじめ、地元農家の大城吉範さん、村出身のグラフィックデザイナーの前田勇憲さん、フリースクールの運営する照喜名恵子さんの他、NPO団体が所属しています。また、神戸で地域プロデュース会社を経営している中森光彦さんは、五年前に仕事で初めてやんばるを訪れ、大宜味の人々の環境に対する意識の高さに感銘を受けたことをヒントに起業し、このプロジェクトのコーディネーターの役割を担っています。さらに中森さんの働きかけで法政大学の協力が得られ、産官学のバランスがとれたコラボレーションが実現しました。地元の視点と外からの視点を大切に地域ブランドの構築

を進めています。

質の良い農産物を  
「新・大宜味ブランド」へ

昨年八月から毎月、プロジェクトメンバーによる意見交換会を重ねた結果、今年度は新たに村の地域資源である農産物を使ったアグリビジネス(農業関連産業)に挑戦します。減農薬・有機栽培による「安心・安全な食の提供」を通じて村の農産物のイメージ

アップやブランディングを図り、地域活性化につなげていく予定です。

「大宜味には、赤土大根や地元の荀チンブク、シークワーサーなど質のいい農産物がたくさんありますが、いいものを作るだけでなく大宜味のイメージを発信することが大切」と話す大城さん。このプロジェクトへの参加でイメージ醸成の大切さを実感しています。

また、大宜味村の自然を活用したヒーリングビジネスに着目している照喜名さんは、「海や山以外にも、目に見えない風香りや、ぶながや」など、精神

文化の高さを活用した次世代へ受け継ぐ新たな産業界が必要で、みんなの共通の想いを確認できて活動の範囲が広がっています」と語ります。「大宜味が好き」「みんなであれば出来る」「一緒に何かを創れることが誇り」とそれぞれの想いを熱く語るメンバー。その活気と楽しそうな笑い声に大宜味の元気の源がありました。

「大宜味村に学ぶ！」  
元気プロジェクトの開発ヒント  
・村の外からの知恵や視点が大切  
・おいしい空気や集落の方言、  
・機械の音など見えないものも「資源」  
・産官学のバランスの良いコラボで  
村民意識が向上



① ヒーリングスポットとしても人気の「喜如嘉の七滝」  
② 大宜味村指定有形文化財「猪垣」を巡るグリーンツーリズム  
③ 大宜味村特産物のシークワーサーを有機栽培  
④ 大宜味村特産物の赤土大根を使ったアグリビジネスを計画



## 編集後記

三カ月前に職場の先輩から頂いたベアのカブトムシ幼虫。白くて丸っこい愛嬌のある姿に娘二人とも大変気に入ってくれたのですが、やがて両方とも立派な成虫になったところ、「ゴキブリみたいで怖い」ということで切腹しようともしませんでした(おい)。そんな哀れなカブトムシですが、今日も元気に虫かごの中を動き回っています(笑)。(Takao)

GWに、レンタカーを使って東北旅行に行ってきました。予想通りというかそれ以上の大渋滞。そこで気づいたのが、ブレーキを踏む時には、どの車もハザードランプを点灯させる事。最初は、何だろーと思っただけでしたが、なるほど高速道路の急ブレーキによる追突事故を防ぐ警告だったんです。高速道路のルールを勉強できたGWでした。(momoko)

## 美嶋沖縄

沖縄県広報誌 平成21年6月1日発行第33巻6号通巻405号

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課  
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2  
TEL:098-866-2020

●表紙 写真・島袋常貴/  
産地の梅を活用した  
アグリビジネスを展開(大宜味村)